

## 大造じいさんとガン

教科書出版社名（ 光村図書 ）

## ○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語 ）

## ○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・本単元での最終目標は下記のようにクラスによって変えた。  
教科書教材である大造じいさんとガンや、椋鳩十の作品を読み、魅力をリーフレットで伝えること  
椋鳩十の作品から心に響いた表現に着目して、朗読発表会を開くこと  
椋鳩十の作品から優れた表現に着目して、本のショーウィンドウで思いを伝えること

## ○ 学校図書館活用のポイント

- ・教科書教材である「大造じいさんとガン」の作者である、椋鳩十の作品を並行読書として活用する。様々な表現や人物像を学び、思いや感想、音読にて表現をする。教科書教材だけでなく、関連図書も活用することによって、情景描写や心情描写の書き方などを学べるようにしたい。また、椋鳩十の作品だけでなく第四学年で学習した「ごんぎつね」も図書で思い返し、情景描写や心情描写の復習に取り組む。
- ・補助教材を活用した話し合いや紹介活動、あらすじ等のまとめなど、教科書教材以外の図書を活用し実践する。

## ○ 学習の展開

## 【パターン1 リーフレット作成】（全10時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学習してきた本の紹介活動を振り返る。</li> <li>・教員による物語の紹介例（リーフレット）を示し、物語の魅力について知る。</li> <li>・「すぐれた表現に着目して椋鳩十の作品を読み、物語の魅力を伝えよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul>
第2次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を聞き、初発の感想を書く。</li> <li>・場面分けをし、音読練習をする。</li> <li>・それぞれの年の作戦名を考える。</li> <li>・それぞれの年の大造じいさんの残雪に対する見方を考える。</li> <li>・大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わった場面を理由とともに話し合う。</li> <li>・大造じいさんの心情を考え、心に残る表現をまとめる。</li> </ul>
第3次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットにあらすじの部分を書く。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットに心に残ったところを書く。</li> <li>・「大造じいさんとガン」と並行読書の文章の共通点を書く。</li> <li>・友だちにリーフレットを使って紹介し、感想を伝え合う。</li> </ul>
--	---

### 【パターン2 朗読発表会】(全 16 時間)

第1次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低、中学年での音読学習を振り返る。</li> <li>・「心に響いた表現に着目して、朗読発表会を開こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul>
第2次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椋鳩十の作品と出会い、「大造じいさんとガン」の初発の感想を書く。</li> <li>・残雪との関わりの中で、大造じいさんの心情がどのように移り変わっていくかをワークシートに整理する。</li> <li>・大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わった場面を探し、理由とともに話し合う。</li> <li>・情景描写から大造じいさんの心情を考え、心に響いた表現をまとめる。</li> <li>・物語の魅力を考え、朗読を通して、友だちに自分が考えた魅力を伝えるために、ワークシートにまとめる。</li> <li>・引用部分の朗読の仕方を考え、発表する。</li> </ul>
第3次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椋鳩十の他の作品を読み、心に響いた場面を選び、朗読発表会の準備をする。</li> <li>・朗読発表会を行い、感想を伝え合う。</li> <li>・単元全体の振り返りを行う。</li> </ul>

### 【パターン3 本のショーウィンドウ】(全 10 時間)

第1次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本のショーウィンドウを作って紹介しよう」という学習課題を設定し、学習の計画を立てる。</li> <li>・初発の感想、①心に残った場面②どうして心に残ったか③気になったこと（疑問点）について書き、交流する。</li> </ul>
第2次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大造じいさんの心情の変化を考える。</li> <li>・大造じいさんの考え方が大きく変化した理由を考える。</li> <li>・情景や心情について考える。</li> <li>・今までの学習でまとめたことを本のショーウィンドウで表現する。</li> </ul>
第3次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ物語のあらすじをまとめる。</li> <li>・登場人物の心情の変化を考える。</li> <li>・物語の魅力を本のショーウィンドウにまとめる。</li> <li>・物語の魅力について伝え合い、交流する。</li> </ul>

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・並行読書として多くの本を活用することで、椋鳩十の作品に対する思いや、作者の表現方法を学ぶことができた。内容の難しい話が多く、心情描写や情景描写の理解が難しい単元であるが、多数の図書を準備することにより多数のパターンを学ぶことができた。 ・今回5年生においても学習計画を立てて、最終目標を意識した学習に取り組んだ。他学年同様、単元を通した学習をする際には有用であると感じた。
② 課題	・心情描写や情景描写に関してはまだまだ難しく、多くの表現を学習する必要があると感じた。普段の読書量により、読み取りの能力に大きな差が開いた結果となった。図書の貸し出しは増えているが、読み物に関する図書の貸出率を向上させる必要があると感じた。
③ 児童の感想・ふりかえり	・授業計画があったので、次に何をするのかわかってよかったです。リーフレットはみんなの書いたものを読んで面白かったです。 ・心情を考えながら朗読をすると、いつもより気持ちを入れることができた。

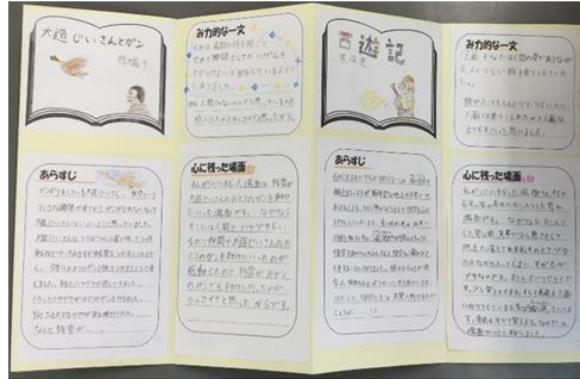
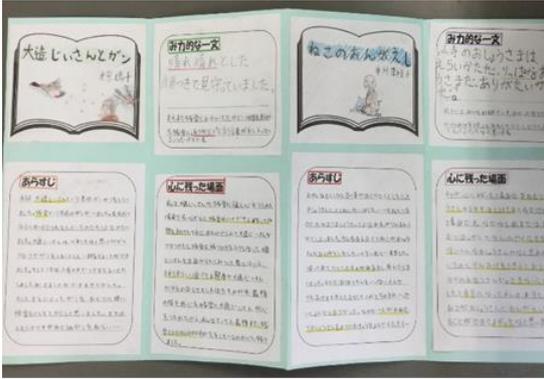
○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<p>・今回の単元ではクラスによって最終目標が異なる計画を立てた。クラスによって活用する図書も異なるため、並行読書に関する図書は普段より多く準備をした。椋鳩十の作品がメインではあるが、動物と人間の関わりが描かれている作品を選択し、情景や心情などの細かな変化に着目しながら並行読書を進めた。並行読書だけでなくブックトークによる話し合い等の活動もできれば、より学校図書館の活用につながると考え取り組んだ。</p> <p>・椋鳩十の作品だけでは表現が難しい場合もあったため、前学年で学んだごんぎつねなど、児童に親しみのある図書も用意するよう心掛けた。各クラスでの活動ではあったが、学年での交流をすることで、さらに深い学びにつながるのではないかと感じた。朗読発表会の参観や、作成したリーフレットやショーウィンドウの展示を行い、それぞれの交流ができるよう学習計画を精選したい。</p>
---

【活用資料】

- ・「片耳の大シカ」 (椋鳩十 偕成社)
- ・「マヤの一生」 (椋鳩十 大日本図書)
- ・「月の輪グマ」 (椋鳩十 ポプラ社)
- ・「きえたキツネ」 (椋鳩十 小峰書店)
- ・「たたかうカモシカ」 (椋鳩十 小峰書店)
- ・その他動物を描いた物語

【作品の魅力を伝えるリーフレット】



【本のショーウィンドウ】

